

平成18年度実績評価事務事業進行管理表

事務事業名	域産域消 事業者活動支援事業				財務会計上の位置付け	会計	款	項	目	細目	細々目	19予算額(千円)
部等名	産業経済部 課等名 農業課				包含する細々目	1	6	1	3			
政策	1 多様な産業が発展できる経済力の強いまちづくり											
施策	13 地域内産業の多様な連携											
実施区分	継続	会計	一般会計	環境調整会議	不要	関連計画 条例等		有機JAS法 特別栽培農産物表示にかかるガイドライン 長野県環境にやさしい農産物表示認証制度 地域経済活性化プログラム2007				

【Do】(1)この事務事業は次の目的を達成することを目指します。

目的の記述	対象(人や物、自然資源など)	対象の大きさを表す対象指標名と単位	対象指標の数値			
	農産物生産者 農産物小売販売店、飲食店 ホテル・旅館 食品製造事業者	小売販売店・飲食店数(件)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度	23年度以前に終了は終了年度とする	
			1387			
		ホテル・旅館件数(件)	現状又は19年度見込	23年度又は終了年度		
	意図(成果は何か、対象をどうかえるか)	成果達成度を表す成果指標名と算定式・単位	成果指標の数値(実績・目標)			
	安全性の高い農産物を生産供給してもらおう。 地元農産物に付加価値をつけて販売してもらおう。 飲食店等で地元農産物を使った献立を増やし、ホスピタリティを高めよう。 地域農産物を加工原料に利用してもらおう	制度活用店舗数/市内小売店等事業店舗数	18目標	最終目標		
			18実績	19目標		↑ 最終目標達成年度
			23目標	23実績		
			18目標	最終目標		
			18実績	19目標		↑ 最終目標達成年度
23目標			23実績			

(2)意図を達成するために以下のことを取り組みます。

手段の記述	事業の全体概要(補足説明)	具体的活動内容(やり方、手順、詳細)	活動量を表す名称・単位	活動量の値
	ホテル旅館等の参画を得て、地元農産物を使った献立研究を行うとともに、共に、域内の農家及び流通事業者と連携した食材の供給利用体制づくりを検討・実践する。	18年度の実績 ホテル旅館等を対象に地元農産物を活用した献立研究のための交流会の実施 食品製造事業者の聴き取り調査の実施。原料供給利用体制の整備。	交流会開催数(回) 事業者聴き取り(件)	5 2
	19年度計画 ホテル旅館等を対象に地元農産物を活用した献立研究のための交流会を実施 食品製造事業者の聴き取り調査の実施。原料供給利用体制の整備・試行。 ホテル側と生産者側の接点の場づくりの実施	交流会開催数(回) 試行件数(件)	5 3	

<金額の単位:千円>		18決算額(見込)	19予算額(当初)
事業費	特定財源		
	国庫支出金		
	県支出金		
	起債		
	その他		
一般財源			
事業費計(A)	0	0	
人件費	正規職員所要時間	18年度	19年度
	臨時職員等所要時間		
	人件費計(B)	0	0
	トータルコストA+B	0	0

特定財源内訳や補足事項	
-------------	--

(3)この事業目的の達成は、次の上位(施策や主体の役割)目的の達成に結びつきます。

目的の記述	結果 この事務事業の施策(基本事業)の目的	上位成果指標(施策又はムトス指標)と単位	上位成果指標の数値			
	多様な連携により新たな経済活動を創出する	公共施設給食の地元食材利用重量比率(%)	現状値	26.6	19実績	
			20実績		21実績	
			22実績	23目標	35	
			現状値		19実績	
			20実績		21実績	
		22実績		23目標		

<p>この事業を開始したきっかけ</p> <ul style="list-style-type: none"> 直売所や直売コーナーが定着しつつあり、地元農産物が顔の見える安全安心な食品として消費者から求められている。 地元で生産された農産物を地元で消費する「地域産域消」を推進することは、自然や経済の地域内循環を創り出すことにつながる。 	<p>事業を取り巻く状況の変化</p> <ul style="list-style-type: none"> 食品に対する安全性の意識が高まり、農産物の原産地表示等が求められる。 	<p>事業に対する市民や議会の意見</p> <ul style="list-style-type: none"> 地元農産物がどの店で、どこに売られているか、一目でわかった方がいい。 ホテルや旅館で地元特産品を使った料理を提供したい。
--	---	--

【See】18年度の振り返り

目的 妥当性 評価	この事業の意図の達成が、結果(上位目的)に結びついていますか？	(評価) <input type="checkbox"/> 結びつく (その理由)	地元農産物の消費が拡大するなど、地域農業の活性化に結びつく。	成果をさらに向上させる余地はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> (その理由)
	対象の見直し、拡大、縮小の必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> (その理由)		有効性評価 廃止・休止した場合の影響はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> (その理由)
	意図の見直しの必要性はありますか？	(評価) <input type="checkbox"/> (その理由)		他に類似事業はありますか？また統合の可能性はありますか(市以外の取組も含む)	(評価) <input type="checkbox"/> 統合不可能 (類似事業名、理由) 国県の認証表示制度や直売所の定着等の類似した制度や状況があるが、より使いやすくわかりやすいものとするため。
	市が関与する必要性はありますか？(市が税金を投入すべき事業ですか)	(評価) <input type="checkbox"/> 必要ある (その理由)	小売店や飲食店の協力を得ながら、統一的に進めるためにも関与が必要。	効率性評価 成果を下げずに、事業費や人件費の削減は可能ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> (その理由)
				公平性評価 受益者は誰ですか？また、負担の是非、程度は妥当ですか？	(評価) <input type="checkbox"/> 妥当である (受益者とその理由) 生産者、消費者、販売店・小売店。

【Plan】改革改善

<p>今後の事業の方向性</p> <p><input type="checkbox"/> 終了 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 目的見直し <input type="checkbox"/> 別事業に統合 <input type="checkbox"/> 事業のやり方改善 <input type="checkbox"/> 現状維持</p> <p>実施年度 <input type="text"/></p> <p>具体化</p> <p>上記の改革改善案を実施する際、想定される課題とその克服方法</p>	<p>何を、いつまでにどうするのかの改革改善案</p>
--	-----------------------------

【補足事項環境側面】

(1) 環境影響評価の必要性判断	(2) 必要性な場合の実施事由
(3) どのような点に配慮し事業に取り組みましたか？	

【指摘事項】

施策マネジメント会議	
施策評価会議	
第5次基本構想基本計画推進委員会	